

# 日本物理学会 2026 年春季大会

## 領域 7 インフォーマルミーティング議事録

日時: 2026 年 3 月 26 日(木) 18:00-

場所: オンライン開催

主催: 領域 7 運営委員

### 【議事目次】

- 学生優秀発表賞 表彰式
- 現領域代表・副代表・運営委員の紹介
- 次期領域代表・副代表・運営委員の紹介
- 次々期領域運営委員の選出・承認
- キーワードおよび合同領域設定について
- 前回の審議事項「学生優秀発表賞の今後のあり方」について
- オンライン大会でのポスターレビューについて
- 各種賞の締切等について
- 今後の学術会合について
- 次回以降の大会について

### 1. 学生優秀発表賞表彰式

インフォーマルミーティングにて表彰式を行った。

審査基準:

- 研究内容（研究の意義・新規制、妥当性）
- プレゼンテーション（スライドの構成、伝わりやすさ）

審査員: 6 名

審査対象者: 6 名（会期中に行われた口頭発表からの申請者）

→ 受賞者: 増田泰斗さん（名大院工）「単相グラフェンにおける Mahan 励起子の観測」

### 2. 現領域代表・副代表・運営委員の紹介

現領域代表 中澤 康浩先生（阪大理）

副代表 竹谷 純一先生（東大新領域）

・領域運営委員:

高木 里奈(東大物性研)【任期 2025 年 4 月～2026 年 3 月】

川上 拓人(阪大院理)【任期 2025 年 4 月～2026 年 3 月】

中村 優斗(名大工)【任期 2025 年 10 月～2026 年 9 月】

小澤 大知(NIMS)【任期 2025 年 10 月～2026 年 9 月】

が紹介された。

### 3. 次期領域代表・副代表・運営委員の紹介

領域代表 竹谷 純一先生(東大新領域)【任期 2026 年 4 月～2027 年 3 月】

副代表 森 初果先生(東大物性研→東京理科大)【任期 2026 年 10 月～2027 年 3 月】

・領域運営委員:

中村 優斗(名大工)【任期 2025 年 10 月～2026 年 9 月】

小澤 大知(NIMS)【任期 2025 年 10 月～2026 年 9 月】

浦井 瑞紀(東大物性研)【任期 2026 年 4 月～2027 年 3 月】

山下 侑 (NIMS)【任期 2026 年 4 月～2027 年 3 月】

が紹介された。

### 4. 次々期領域運営委員の選出・承認

領域運営委員

竹原 陵介(東京科学大学)【任期 2026 年 10 月～2027 年 9 月】

岩切 秀一(NIMS)【任期 2026 年 10 月～2027 年 9 月】

が推薦され, 承認された。

### 5. キーワードおよび合同領域設定について

第 81 回年次大会(2026)で以下のキーワードの修正・追加が提案され, 承認された。

キーワード:

【変更前】

9. グラフェン関連 (グラフェン、モアレ物質など)

【変更案】

9. グラフェン (修正)

18 . モアレ物質 (修正)

63 . リザーバーコンピューティング (追加)

合同領域に関する注釈の修正:

『(注)キーワード(9)グラフェン、(17)ファンデルワールス層状物質、(18)モアレ物質を選んだ口頭講演や関連性が強いと思われる講演に対して、領域 4 との合同セッションを組むことがあります』

## 6. 前回の審議事項「学生優秀発表賞の今後のあり方」について

運営委員より以下のように提案し、いずれも承認された。(審議を経て一部改定)

### 2. 応募資格

- 。大学・大学院もしくは同等の機関に在学中の学生で、日本物理学会年次大会及び春季大会において第一著者として年次大会ではポスター発表、春季大会では口頭発表を行う者。
- 。ポスターもしくは口頭発表の研究の主要部分に寄与していること。
- 。発表申込時に学生優秀発表賞応募を申し込むこと。
- 。過去の受賞者ではないこと。

提案①：口頭発表とポスター発表の両方を対象とする

提案②：受賞回数に制限は設けない。ただし、同一発表形式(口頭発表またはポスター発表)について、連続する大会でのエントリーは認めない。

### 4. 審査対象

- 。発表内容(研究の意義と新規性、実験・考察の妥当性)
- 。プレゼンテーション(説明の分かりやすさ、質疑応答の内容、ポスター/スライドの完成度)

提案③：審査対象に「講演概要(概要集原稿)」を Web ページに明記する。

## 7. オンライン大会でのポスタープレビューについて

下記の意見が挙げた

- ・プレビューがあると、内容がわかるので入室しやすい。
- ・今回は常時どの部屋も人が入っていた。
- ・2分がちょうどいい。発表者としても、学生指導の意味でもやりやすい。
- ・今の人数(10名程度)であれば座長としても継続可能。
- ・オンラインポスター発表自体に関する意見として、通常のポスター発表と異なり、3人目が話に入りづらい。

## 8. 各種賞の締切等について

AAPPS C.N.Yang Award (2026 年 5 月頃 締切見込)

若手奨励賞 (2026 年 7 月中旬, 領域内締切見込)

米沢登美子賞 (2026 年 10 月上旬, 領域内締切見込)

論文賞(2026 年 10 月上旬, 領域内締切見込)

## 9. 今後の学術会合について

- ・ ICSM 開催予定
- ・ 応用物理学会における物理学会との連携シンポジウム開催予定のお知らせがあった（竹谷先生）

## 10. 次回以降の大会について

- ・ 日本物理学会設立 80 周年記念国際シンポジウム  
開催場所: 東京大学（駒場キャンパス）  
期日: 2026 年 9 月 13 日(日)  
(下記の第 81 回年次大会期間中に, サテライトセッションを行う)
- ・ 第 81 回年次大会（80 周年記念国際記念シンポジウム）  
開催場所: 東京大学（駒場キャンパス）  
期日: 2026 年 9 月 14 日(月)～17 日(木)
- ・ 2027 年春季大会  
開催場所: オンライン開催  
期日: 2027 年 3 月 16 日(火)～19 日(金)
- ・ 第 82 回年次大会  
開催場所: 名古屋大学（東山キャンパス）  
期日: 2027 年 9 月 15 日(水)～18 日(土)
- ・ 2028 年春季大会  
開催場所: オンライン開催  
期日: 2028 年 3 月 21 日(火)～24 日(金)

## 11. その他

領域代表より情報共有:

領域制に移行して 20 年以上経過したことを受け, 理事会でワーキンググループをつくり、領域の在り方などの検討の議論がスタートしている。

各領域に意見を聞きながら進めていくということが報告された。